

授業科目 義肢実習 II(下腿義足実習)

【担当教員名】 東江 由起夫、前田 雄、大沼 雅之、 高橋 素彦、加藤 博務		対象学年 2	対象学科 義肢
		開講時期 後期	必修選択 必修
		単位数 4	時間数 120
【ディプロマポリシーとの関連性】			
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度
○		○	○
【技能・表現】			
◎			
【概要・一般目標：GIO】			
概要： カルテの記入方法、切断端の観察方法、切断端の評価方法、採寸採型技術、義足の組み立て技術、義足部品の種類や機能、ソケットの適合技術、アライメントの設定方法等の下腿義足を製作するための基礎的な知識や技術を体得する。実際に下腿切断者（モデル）の義足を製作する。			
GIO： 安全で適合した下腿義足を製作するための技術を、実習を通して体得する。			
【学習目標・行動目標：SBO】			
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本科目の全体的な概要と評価内容、評価方法を理解している。 2. 下腿切断者とコミュニケーションを図り、必要な情報を聞き取ることができる。 3. 製作に必要な情報を、断端の評価、採寸等を実践し、カルテに記入することができる。 4. 健常者歩行・下腿義足歩行を理解する。 5. 採寸・採型及び陽性モデルの修正を行なうことができる。 6. 下腿義足の部品を適切に扱い、組み立て、調整することができる。 7. 下腿義足を適切に装着し、ソケットの評価と適合、アライメントの評価と調整を実践することができる。 			
回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	オリエンテーション（全体の概要と評価方法）、カルテ作成、切断者の評価、情報の記入	1, 2, 3	説明
2	切断者の評価	2, 3	実習
3	健常者歩行の歩行分析	4	実習
4	TSB 採型のデモンストレーションと、採型練習	5	実習
5	TSB 採型実習	5	実習
6	陽性モデル修正	5	実習
7	ソケット成形	6	実習
8	ソケットと支持部の接着	6	実習
9	義足の組み立てとアライメントの設定、カフベルトの製作	6	実習
10	適合のデモンストレーション	7	実習
11	適合実習 1	7	実習
12	適合実習 2	7	実習
13	適合の復習	7	実習
14	義足歩行者の歩行分析	4	演習
15	まとめ		講義・実習
【使用図書】		<書名>	<著者名>
		<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	義肢学 第2版	澤村誠志 編、日本義肢装具学会 監修	医歯薬出版 2010
	義肢製作マニュアル	田澤英二、日本義肢装具士協会 監修	医歯薬出版 2010
参考書	切断と義肢	澤村誠志	医歯薬出版 2007
その他の資料			
【評価方法】 カルテ評価 70%、姿勢 30%		【履修上の留意点】 原則、欠席1回につき-5点、遅刻1回につき-2点を最終評価から減点する。また遅刻2回で1回の欠席とする。 授業の1/3を欠席した者は、原則、科目評価資格を失うものとする。	